

平成22年 5月 7日  
独立行政法人  
日本原子力研究開発機構  
敦賀本部

高速増殖原型炉もんじゅ  
「FFD CG法プレシピテータ計数率高」警報の発報について

平成22年5月6日23時09分頃、破損燃料検出設備におけるカバーガス法破損燃料検出装置のプレシピテータのうちA号機に切替る際、核分裂生成物（FP）を検出している電気回路のノイズにより、「FFD CG法\*プレシピテータ計数率高」（バックグラウンドの3.7倍）警報が発報した。

本日も同様の警報が、10時1分頃、10時46分頃、11時09分頃、11時31分頃、11時54分頃発報しており、12時04分、手順書に従いA号機のプレシピテータをバイパスしB、Cの交互運転に移行した。

プレシピテータB、C号機の交互運転状態は良好であり、監視は維持できている。

保安規定で定めるLC0逸脱の値は、1次アルゴンガス中の核分裂生成物濃度は $1 \times 10^8 \text{ Bq/cm}^3$  であり、今回の警報値は十分に低い値である。

破損燃料検出設備におけるカバーガス法破損燃料検出装置のうちのプレシピテータ（FPコレクター）は3台（A、B、C）があり、交互（約8分ごと）に運転している。

なお、本事象による、環境への影響はありません。

\* 破損燃料検出装置 カバーガス法

（添付資料）破損燃料検出装置構成図

以上

# 破損燃料検出装置構成図

